

# 千葉の園芸

発行所 千葉市中央区市場町1-1  
公益社団法人千葉県園芸協会  
連絡先 043(223)3005  
発行日 毎月1日  
平成30年3月号

## 産地パワーアップ事業によるブーケレタス新農場の整備

株式会社 葉っぱやファーム  
代表取締役 野本 一弘

### 1 葉っぱやブーケレタス

弊社では、愛らしいフリルのような形の柔らかい葉と、クセのない味わいが特徴の「葉っぱやブーケレタス」を生産しています。生産農場は千葉市を含め県内4か所、その他北海道に1か所あります。

花嫁が持つブーケのように、「手に取る人が思わず笑顔になってしまうレタスに」と想いを込めて名づけたブーケレタスは、弊社を含め全国各地の協力水耕農家の皆さんの手で日々大切に生産・出荷されています。

### 2 「千葉村」の竣工

平成29年10月、千葉市緑区に計7棟の水耕ハウス群、通称「千葉村」が竣工となりました。平成28年度産地パワーアップ事業を活用したこのハウスの特徴は、耐風性に優れた低コスト耐候性ハウスであることと、充実した環境制御機能、ブーケレタス栽培に適した水耕設備の導入、そして次世代を担う若い農場長たちの存在にあります。

彼らに出会ったきっかけは、各地で開催されている農業に関するイベントでした。



収穫を行う農場長たち

そこで気付いたのは、農業に関心を持つ若者の多いことです。農業への関心を仕事につなげるのに大切なことの一つは、「分かりやすい、シンプルな仕組みと技術」だと思います。

「千葉村」には、ブーケレタスにとって、そして農業に一歩足を踏み入れた若者たちにとって、それぞれの成長を促す環境になるよう、工夫と願いを込めました。

### 3 お客様の笑顔を目指して！

現在、ブーケレタスは全国51か所の協力農場で生産されています。各地の農業の先輩方の知識と技術、そして生産者としての感覚は、農場の従業員たちにも大きな刺激となり、目指すべき目標ともなっています。一方で、彼らの柔軟な発想、行動力、考え方にも学ぶべきところがたくさんあり、お互いに切磋琢磨しています。

元気な生産者たちが作るブーケレタスが、手に取るお客様の笑顔を生み出せるよう、これからも栽培技術向上、安定出荷を目指してブーケレタス栽培に取り組んでまいります。



「千葉村」全体図

## ネットを広げればグリーンカーテンが完成！

千葉県農林総合研究センター  
花植木研究室 研究員 室田 有里

グリーンカーテンは夏の省エネ対策や涼感の演出として広く普及しています。草丈 2 m ほどにまで育てた草本性つる植物（長尺苗）を、ネット付きで出荷すれば、出荷直後からカーテン状になり、その後の誘引もほとんど必要ないので、夏の業務用植栽としての需要が見込まれます。

### 1 長尺苗のメリット

通常のグリーンカーテンは、3号ポット等に入った草丈 20 cm 程度の苗を定植するため、完成までに約 2 か月を要します。草本性のつる植物をあらかじめ草丈 2 m 程度まで育てた苗（以下、長尺苗という）を用いると、施工直後からカーテン状になっており、約 3 週間で高さ 3 m のグリーンカーテンが完成します。この方法は、施工直後から完成度の高さを求められ、工期が限られる業務用において利用のメリットがあります。

### 2 長尺苗に適した品目

長尺苗の品目には、つるが伸びて密なグリーンカーテンを形成する生育量があることに加えて、輸送時につるが傷みにくいこと、花や実が楽しめることなどが求められます。これらに合致する品目・品種として、ルコウソウ、早生型西洋アサガオ「ヴェニスブルー」、ミナロバータ、ツンベルギア・アラタなどがあります。



写真 長尺苗に適した品目・品種

左上「ツンベルギア・アラタ」、右上「ミナロバータ」、  
左下「ルコウソウ」、右下「ヴェニスブルー」

### 3 長尺苗の栽培方法

ルコウソウとツンベルギア・アラタは初期生育が遅いので 4 月上旬に、西洋アサガオやミナロバータでは 4 月下旬に播種し、温床マットな

どを使用して 20℃（ツンベルギア・アラタは 25℃）を確保するように管理します。本葉が展開する 5 月上旬頃に 3 号ポリポットに鉢上げし、以降は無加温で管理します。ネットをまんべんなく被覆させるため、つるの長さが 20～25 cm（本葉 3～5 枚目安）になったら摘心し、1 株当たり 3 本のつるを確保します。

5 月下旬、培養土を充てんした 65cm 幅プランター（縦 22cm、横 64cm、深さ 18cm、容量 9.6ℓ）に苗を 20～25cm 間隔で 3 株植えとします。植え替え後の生育と輸送性を考慮すると、この大きさのプランターが最適です。植え替えの際に、西洋アサガオの苗と、その他の品目でつるが 3 本確保できていない苗は再度摘心し、つるをネット（網目 10 cm、幅 90cm、長さ 3.3m）に誘引します。ネットはプランター上 2～3 m の位置に張ったワイヤーからプランターに垂直に展張します。その後の誘引はほぼ不要です。

6 月中下旬、草丈 2 m 程度、ネットをまんべんなくつるが覆うようになれば出荷可能です。出荷の際は、つるの絡みと葉の傷み防止のために不織布等の柔らかい緩衝材を挟んでネットごとロール化し、段ボール箱等に梱包します。葉が傷む可能性があるため、輸送開始から 48 時間以内に展張するようにします。



写真左：出荷時の梱包の様子



写真右：出荷適期のルコウソウ



## 県産花きを活用した花育活動に取り組んでいます

(公社) 千葉県園芸協会産地振興部  
(千葉県花き振興地域協議会事務局)

千葉県花き振興地域協議会では、平成 26 年度に策定された「千葉県花植木振興計画」に沿い、国の国産花きイノベーション推進事業を活用して、花植木文化の展示や学生を対象とした花育活動などに取り組んでいます。今回は、本年度に実施した花育活動の概要を御紹介します。

### 1 花育活動の概要

当協議会では、花の需要拡大に向けた生産振興の一環として、平成 26 年度から、当該事業を活用し花育活動などに取り組んでいます。

本年度は、主に小学生・高校生を対象とした「花育授業」と、高校生フラワーデザインコンテストを実施しました。

### 2 花育授業

#### (1) 小学生等を対象とした授業

本年度は、小学校 54 校、中学校 1 校、幼稚園等 11 園の合計 66 校（園）で実施しました。授業は学校側のニーズに応じて、県、生産者団体、流通・小売業者、文化（華道）団体が講師となり、フラワーアレンジメント、生け花、花壇づくりなどを行いました。

授業実施後のアンケートでは、千葉県の花生産に関する認知度の向上が確認されています。



真剣に講師の説明を聞く生徒の様子（花育授業）

#### (2) 高校生を対象とした授業

本年度は、合計 13 校で花育授業を実施しました。内容は、フラワーアレンジメントとし、受講者の関心を更に深めてもらうため、後述する「高校

生フラワーデザインコンテスト」への参加を促しました。

授業実施後、保護者（高校生は本人）に対して、各家庭での花の購入頻度の変化などについてアンケートにより確認しています。これまでのところ、おおむね 1 割の家庭で、購入頻度が授業実施前よりも増えたとの回答を得ています。

### 3 高校生フラワーデザインコンテスト

当コンテストは、11 校から合計 28 名が参加し、花育授業で習得したアレンジメント技術を更に高めるため、1 月 20 日（土）に茂原市内の商業施設「アスモ」において、競技形式により実施しました。参加した生徒は、事前に意図していたアイデアを実践するため、それぞれ真剣にアレンジメントの制作に取り組んでいました。

この経験を生かし、彼らが今後も、自身の「癒し」や「安らぎ」の拠りどころとして花と触れ合うとともに、花文化の発信を継続していくことが期待されます。



熱心にアレンジメントの制作に取り組む学生  
（高校生コンテスト）

# パッションフルーツの収穫時期を早める整枝法

農林総合研究センター 暖地園芸研究所  
特産果樹研究室 主席研究員 押田 正義

南房総地域では観光・直売向けにパッションフルーツの栽培が増加しています。パッションフルーツの収穫時期のピークは8月下旬以降ですが、観光客が多い夏休み前半(7月~8月上旬)の需要に応えられるよう、従来よりも早く収穫できる新しい整枝法を開発しました。

## 1 はじめに

パッションフルーツは甘酸っぱい食味と独特な香りが特徴の南米原産の果樹で、南房総地域では観光・直売向けに栽培が増加しています。冬期は低温で枯死するため加温施設での栽培が基本ですが、無加温施設や露地で1年生作物として栽培することも可能です。この作型では収穫のピークが8月下旬以降になるため、観光客の多い夏休み前半(7月~8月上旬)の需要には間に合いません。そこで、収穫時期を早める新しい整枝法を開発しました。

## 2 新しい整枝法「真横垣根整枝」

新たに開発した真横垣根整枝では、棚や架線は従来の吊り下げ型整枝と同じものを用います。育苗時又は苗木を定植後、主幹を棚の高さ(約180cm)で摘心し、結果枝を左右に各7本程度水平に伸ばして着果させます(図1)。吊り下げ型整枝では主枝を育成してから結果枝を伸ばすのに対し、真横垣根整枝では主幹から直接結果枝を伸ばすため、主枝の育成期間が短縮され、収穫時期の前進化が期待できます。着果管理は、結果枝の基部側から4果まで着果させ、その先4節は摘蕾・摘果し、5節目以降に再度着果させます。結果枝は栽植密度にかかわらず、隣接樹に達したところで摘心します。

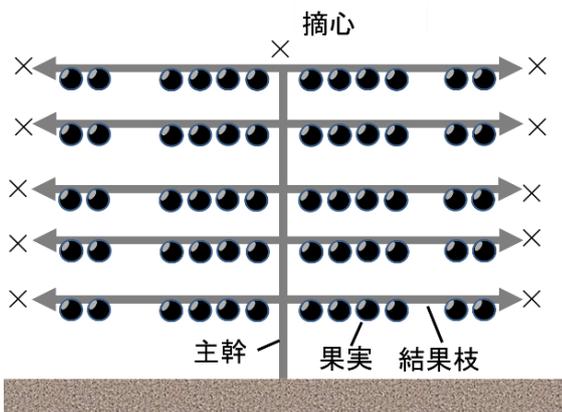


図1 真横垣根整枝の模式図  
(×は摘心を示す)

## 3 真横垣根整枝による収穫時期の前進化

無加温施設で4月上旬に苗木を定植した場合の収量を、真横垣根整枝と吊り下げ型整枝で比較しました。真横垣根整枝では収穫時期が早まり、7月~8月上旬の収量が増加しました(図2)。8月下旬以降は吊り下げ型整枝の収量が多かったため、総収量は同程度でした。果実品質は、真横垣根整枝が吊り下げ型整枝に比べて、糖度がわずかに低く酸含量が高くなりましたが、食味は同程度で商品性に問題はありませんでした(表1)。

5月上旬に苗木を定植する露地栽培でも、真横垣根整枝では収穫時期が早まり、7月~8月上旬の収量が増加しましたが、総収量はやや少なくなりました。また、露地栽培で8月上旬までに収穫した果実は、整枝法にかかわらず酸含量が高くなります。この場合、20~25°Cで3日間程度追熟することで酸含量を低くすることができます。

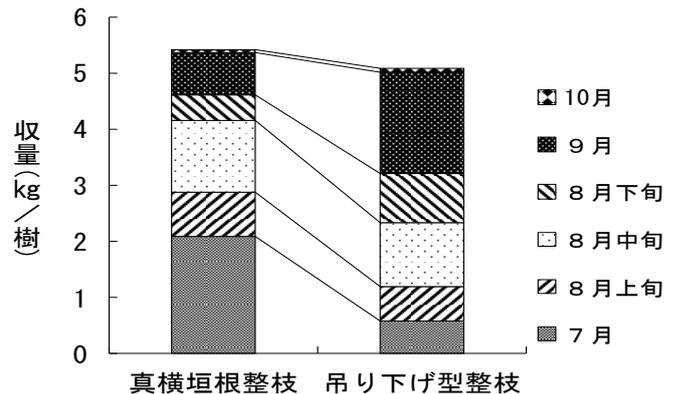


図2 真横垣根整枝と吊り下げ型整枝の  
収穫時期別収量(無加温施設栽培)

表1 真横垣根整枝と吊り下げ型整枝の果実品質  
(無加温施設栽培、7月~8月上旬収穫)

整枝法	果実重 (g)	糖度 (Brix)	酸含量 (g/100mL)	食味
真横垣根整枝	109	18.2	2.55	3.6
吊り下げ型整枝	111	18.8	2.02	3.2

注1) 調査果数は真横垣根整枝が158個、吊り下げ型整枝が64個

2) 食味は1(不良)~5(良好)の5段階評価

頑張る産地



## 情報を武器に有利販売を目指す梨産地 一宮・岬梨組合

夷隅農業事務所 改良普及課  
普及指導員 佐々木 良規

一宮・岬梨組合は県内一の早出し産地として定評を得ていますが、市場が安心して販売できるように情報提供を行い、一層の有利販売に結びつけています。出荷日・出荷量の予測、肥大状況等の情報は、組合員個々が調査・報告したデータを基に算出しており、精度の高いものとなっています。

### 1 一宮・岬梨組合の梨栽培

一宮・岬梨組合は、一宮支部（長生郡一宮町）・岬支部（いすみ市岬町）の生産者95名で構成された出荷組合です。早生品種「幸水」を主体とした品種構成で、特にほ場全体をビニールで覆う簡易被覆栽培も行うことで一層の早期出荷を実現し、県内一の早出し産地として高い評価を得ています。



簡易被覆幸水（上部にビニール展張）

### 2 市場への情報提供

県内一の早出し産地として、更なる有利販売に向け、肥大状況や出荷開始日・出荷量等の予想を市場へ伝え、連携を密にしています。

#### (1) 予想出荷開始日の報告

組合では、栽培品種ごとに満開日（受粉日）を取りまとめ、5月初旬に予想される出荷開始日を市場に提供しています。その後の天候等により、ずれる懸念はあるものの、現時点での予想値として、できるだけ早い段階から情報提供しています。

#### (2) 生育調査による肥大状況報告

梨組合役員・研究部員が5月から収穫開始直前まで10日間隔で肥大調査を行います。この結果を集計して、直近の肥大状況として市場に伝えています。

#### (3) 予定出荷量の調査と報告

出荷量の情報は、市場が量販店等と相対取引を行う上で、特に重要な情報になるため、5月・6月に品種ごとの予測出荷量を報告します。この予測値の精度は高く、市場としても販売しやすい産地として認識されています。

	予測値	実績値	対比
H29	4.7万	4.5万	96%
H28	4.7万	4.9万	104%

表：幸水出荷実績と予測値(10kg箱)

なお、この表の数値は、出荷組合員個々から提出されるアンケート調査から算出したものです。調査では、品種ごとの予想出荷コンテナ数・病害虫の発生程度等について記入してもらい、そのデータから出荷量予測を行います。

### 3 今後の情報提供に向けて

現在、市場出荷の大半が量販店との相対取引による契約販売となっています。こうした状況の中では、正確で信頼できる情報を早く市場に提供することが、有利販売に結び付きます。個々の組合員が情報の重要性について認識し、市場が安心して販売できるように情報提供を行うことで、市場での産地評価をより一層高めていくことが期待されます。

### 第38回千葉県フラワーフェスティバル花き共進会結果報告

農林水産部生産振興課

平成30年1月5日に行われた第38回フラワーフェスティバル花き共進会の審査結果は次のとおりです。

- 出品点数 595 点
  - ・鉢花 143 点、
  - ・観葉 54 点、
  - ・洋らん 60 点、
  - ・切花 1 部 114 点、
  - ・切花 2 部 224 点
- 入賞 116 点
  - ・特別賞 33 点、
  - ・金賞 83 点
- 奨励賞 1 点
  - ・切花 1 部 1 点



農林水産大臣賞  
「フィカス」

#### 主な特別賞受賞者

賞名	品目	受賞者
農林水産大臣賞	フィカス	高橋 繁之
千葉県知事賞	きんぎょそう	小泉 敏明
千葉市長賞	ファレノプシス	藤岡 広明
千葉県議会議長賞	オリエンタルユリ	太田 喜明
農林水産省生産局長賞	シクラメン	石毛 光男
農林水産省関東農政局長賞	カトレア	加藤 英世
公益社団法人千葉県園芸協会会長賞	ストック	鈴木 久美子
一般社団法人千葉市園芸協会会長賞	ジャノメエリカ	作佐部 良明
NHK 千葉放送局長賞	エラチオール・ペゴニア	平野 晃久
千葉県農業協同組合中央会長賞	カーネーション	三井 清和
千葉県花き園芸組合連合会長賞	カラー	池田 早苗

他 22 賞

### 第67回関東東海花の展覧会開催結果

農林水産部生産振興課

第67回関東東海花の展覧会が、2月2日～4日の3日間、サンシャインシティ文化会館（東京都豊島区池袋）で開催されました。

花き品評会では、関東東海地区1都11県から花き生産者の技術の粋を集めた切り花や鉢花、観葉植物、洋らんなど1,770点（うち千葉県202点）の出品がありました。

本県からは農林水産大臣賞の他、多くの方が入賞し、本県生産者の技術の高さが伺えました。（本県の受賞者は右表のとおり。）

また、本展覧会は、消費者の花に対する理解を深め、一層の花の消費拡大を図ることを目的として開催されており、品評会の出品や当番県（東京都）による特別展示、フラワーデザインコンテストの作品等、様々な花で会場が埋め尽くされました。

#### 第67回関東東海花の展覧会 花き品評会 千葉県内特別賞受賞者一覧（順不同）

特別賞名	部門名	氏名	住所
農林水産大臣賞	球根切花	柴山 明彦	南房総市
生産局長賞	カーネーション	岩田 秀一	南房総市
	球根切花	太田 喜明	館山市
全国農業協同組合中央会長賞	球根切花	柴崎 則子	君津市
	観葉植物	林 健一郎	旭市
日本花き卸売市場協会会長賞	一般切花	西郷 明	館山市
農林水産省関東農政局長賞	カーネーション	渡邊 健一郎	安房郡鋸南町
千葉県知事賞	一般切花	宮久地 一雄	南房総市
日本花き生産協会会長賞	一般切花	笹子 剛史	南房総市
関東地域花き普及振興協議会会長賞	一般鉢物	石井 孝	安房郡鋸南町
千葉県花き園芸組合連合会長賞	一般切花	在原 淳子	南房総市
誠文堂新光社「農耕と園藝」賞	カーネーション	村岡 慎一	安房郡鋸南町
園芸文化協会会長賞	カーネーション	稲葉 修司	南房総市
サンシャインシティ代表取締役社長賞	カーネーション	海寶 正之	香取郡東庄町
日本洋蘭農業協同組合会長賞	洋らん	加藤 英世	南房総市
日本フラワーデザイナー協会理事長賞	一般切花	川名 大介	南房総市
家庭園芸肥料・用土協議会会長賞	花苗	市原 勝吉	千葉市緑区
日本花き卸売市場協会首都圏支所長賞	一般切花	小澤 昌志	旭市
	一般鉢物	阿津 米彦	袖ヶ浦市



来場者で賑わう展覧会会場